

10 下方への帰還

上方から下方へ残置装備を残さず下降するには、ナチュラルアンカーを支点とし、ロープをダブルで用いる。下方へ残置装備を残さず下降するため、基本的には中間セットを作らない。従って、ロープが擦過するリスクがある。下降ルートを選定などに十分な経験が必要。

- ピッチヘッドでは確実な支点を選定し、ロープをダブルで支点にかける。この時ロープが鋭角に折れる箇所がないように気をつけて配置する。(後でロープが抜けなくなる)
- ロープ末端同士を結束しておき、ロープバッグに末端から順次繰り入れておく。
- ロープが絡まらないようなフリーハンギングなどでは、ロープを垂らしておいてもよい。



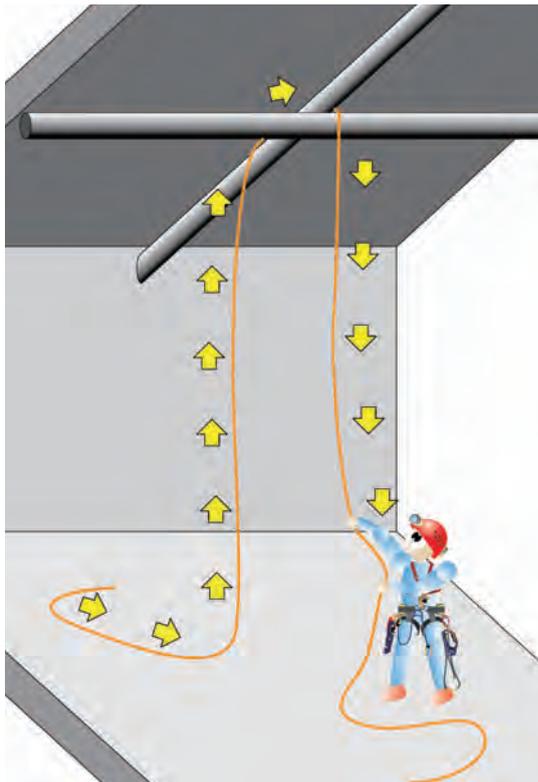
①ATCをショートカウズテイルにセットする。このとき、足場が不安定な場所であればあらかじめセルフビレイを取っておく。

②制動側のロープに補助スリングをブルージックノットで巻き付ける。末端はメインアタッチメントに接続する。(シャントを用いると便利)

③ピッチヘッドにセルフビレイ用のアンカーを作り、ロングカウズテイルでセルフビレイを取る。

④ゆっくり座って、ATCに体重を移す。

⑤ロングカウズテイルをはずし、セルフビレイ用のアンカーを回収する。その後、ゆっくりと降下していく。



- もし1ピッチで降りきれない場合は、岩壁面上で新たな支点を探して、最初からの手順を繰り返す。
- もしロープが重ければ、セルフビレイを取って、引きたいロープにチェストアッセンダーで体重をかけるとよい。
- ダブルロープでの下降が必要であることがあらかじめ分かっている場合は、シャントを携帯することが望ましい。

10
帰還
下方への

